

認定こども園せんだい幼稚園 園長 田原 慎也

## 自分自身の身体で学ぶ

Google や Yahoo などの検索エンジンでは、複数のキーワードを入力すると世界中の web サイトの中からそのキーワードへの関連性の高い web サイトを探し出し、表示してくれます。用事で訪れる場所付近で昼食を取るための飲食店を探したり、週末の予定を立てるときに情報収集をしたりするなど、私たちの生活の中でもはや切り離せないほどの役割を果たしているものであります。

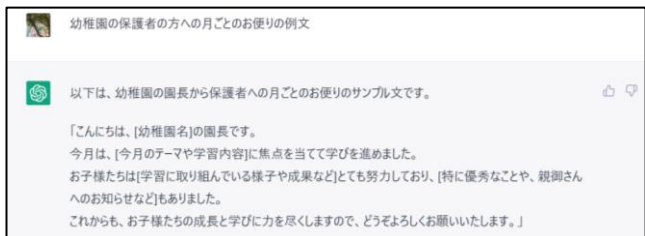
2022年11月、従来のキーワード(単語)ベースの検索エンジンの仕組みとは異なり、「検索したい内容を文章で入力すると、それに応じた検索結果を会話調の文章で返す」といった対話型 AI の ChatGPT が発表され、話題となっています。

例えば、「お金ってなんですか?」と文章形式で入力してみると、



しばらくの時間(10秒ほど)があったのちに、上のようなテキストが表示されました。じっくり読んでみると文法的にも内容的にも大きな問題を感じられない、むしろ模範回答とも思えるような文章が表示されるわけです。

それではと、以下のような質問を入れてもこんな風に回答してくれるのです。



もはや、園長という立場でない人間であっても、的確な質問さえ入力できたら、もはやそれなりの文章がアウトプットされるわけです。ある国外大学(MBA)の入試試験を ChatGPT に解かせてみても、合格点を取ったと言われ

ており、今までの「web 検索」よりさらに上の別の次元に押し上げられたような技術の進歩を感じます。

(もちろん回答の中には誤りと思われるものも多々存在しており、得られた「回答」が正しいかどうかを見極めるだけのスキルが同時に必要になります。)

しかしながら、このようなものを便利だからといって頼り切ってしまうことが、人々の生活を必ずしも豊かにするには思えません。

すでに SNS は「あなたにおすすめ」などと、自分にとって見たくない・興味のない情報は遮断され、自分と同じような価値観や思考を持った情報だけが提供されています。その結果、自分の価値観をより固定化してしまい、自分の正しさばかりを強化してしまうことにもなりかねません。

デジタルに支配されず、うまく活用できる「人」となっていくには、幼い時からデジタルに触れるというよりむしろ、身体的で、直接的で、人と人との多様に関わるような経験が大事なんじゃないかなと思います。

自分の思い通りに行かなくて相手に思わず手が出てしまったときの相手の悲しそうな顔と止まらない涙。最後まで自分の手でやり切ったときのなんとも形容しがたい達成感と喜び。夢中に取り組んでいたときに感じた流れる時間の早さ。

誰に共感してもらってもない、私の気持ちや私の思い。そんな自分らしさはそういった直接的、身体的な経験から作られていくんだと思います。触れて、聞いて、嗅いで、見て、走って、歩いて、関わって。そんな直接的な体験を大事に、「身体で学びながら」今の時期を過ごしたいと思います。